

表5 インドネシア工業生産指数の最大値と最小値を記録した時期

	最大値を記録した時期				最大値を記録した時期				
	97年II	97年III	97年IV	98年I	98年II	98年III	98年IV	99年I	99年II
最小値を記録した時期	97年II			プラスチック器具(1.6)		無機基礎化学(1.7)	パーム食用油(2.4)		金属建築資材(2.6) 繊維縫製材(1.4)
	97年III	編み物(1.6)				合成繊維(1.1)		化粧品(2.3)	
	97年IV				冷凍魚介類(1.4)		ゴム製小物(1.2)		台所用品(1.9)
	98年I	コーヒー(2.9) スマートフォン(2.2)				砂糖(95.6) 清涼飲料(1.2)	紙巻き煙草(1.8)	調味料(1.5)	
	98年II	アルコール飲料(3.1) 工業用紙(2.8) 建築資材(2.2) 鉄パイプ(2.1)	自動車用品(3.3) 薬(2.0) パティック(1.8) セメント(1.7) 電気建築資材(1.4)	畜産資材(2.2) 合成繊維(1.4) 食用油(1.4)			プラスチック製品(2.6) プリント線路(1.7)	二輪車部品(3.3)	石油衛生用品(2.5) プラスチック容器(2.2) 電卓(1.5) 鉄製品(1.9) タイテチューブ(1.8) 基礎有機化学(1.5)
	98年III	粉ミルク(4.3) 五穀類(2.5) 丁子煙草(2.0)	針金(2.5) 農産物(2.1)	非鉄製錬(2.1) 鉄製容器(1.7) 紡績(1.3) アパレル(1.2)				鉄精錬(2.1) ゴム製品(1.5)	鉄鋼(1.4)
	98年IV	その他化学(5.0) 運動靴(2.5) 製材(2.1) 製糖(2.0) 非アノール樹脂(2.0) CD・カセット(1.8)	二輪車(4.9) 家電電機(2.3) チョコレート菓子(2.1)	内燃エンジン(14.8) ライト・ランプ(2.4) ほか基礎化学(2.1) 竹製器具(1.6) 織布(1.3)	紅茶(1.3)				精米(1.6) 接着剤(1.2)
	99年I		自転車(3.6) 自動車ボディ(9.6) ダンボール(2.0) 塗料・ニス(1.4)			電子部品(1.4)			
	99年II	エアコン・冷蔵庫(43.1) セメント建築物(4.4) 電線・電熱線(2.9) 印刷・出版(2.2) 穀物(1.3) 合板(1.3)	乾電池(4.1)	菓子・パン(3.5) 互換網球(1.7)	椰子油(2.2) 家庭用ガラス(2.1) 木製家具(1.2)	小麥粉(2.5) 皮革(2.1) その他木製品(1.7)		合成肥料(1.7)	

【出所】 Badan Pusat Statistik, Indikator Dossenに基づき筆者作成。

- 【注】 1. 括弧内の数字は、最大値を記録した時期の生産指数を、最小値を記録した時期の生産指数で除したものである。
 2. 網掛け表示は、最小値を最終期間である99年第2四半期の生産指数で除した値が1.5以上のものである。
 3. 無機基礎化学及び砂糖は例年第3四半期の生産が突出する季節性が認められるので、注意を要する。
 4. 時期区分の太線は、経済危機前・危機初期、経済危機深化期、回復移行期の区分を示す。